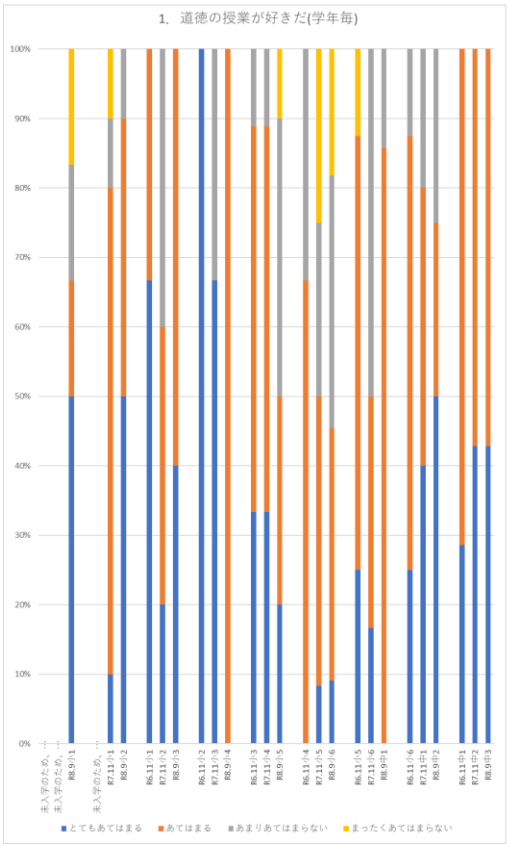
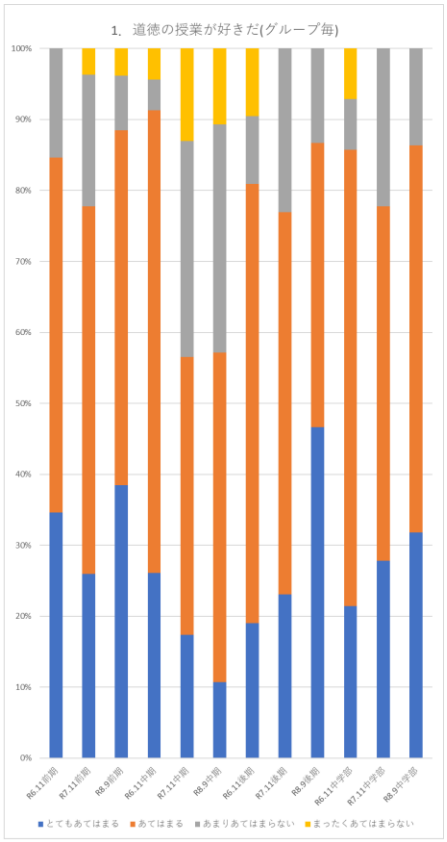
Ⅰ 道徳に関する情意面のアンケートの分析

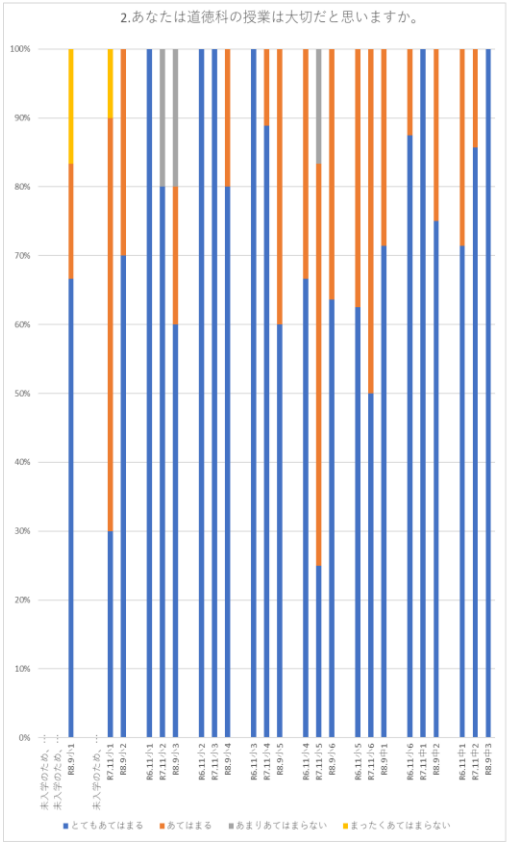
①道徳の授業が好きだ。

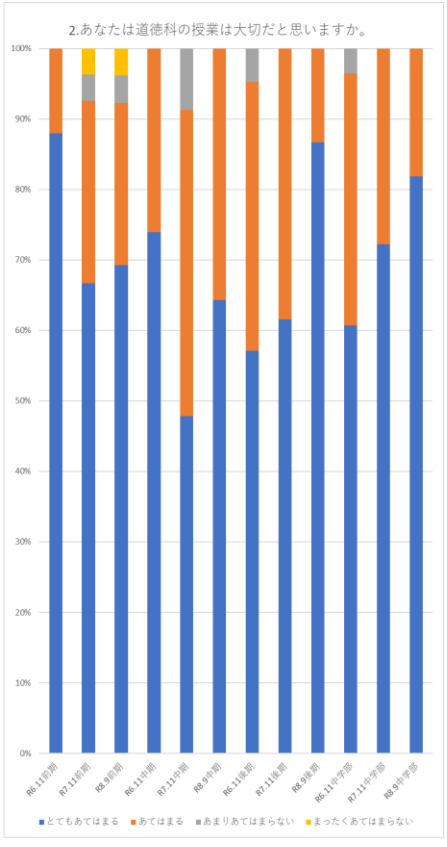




道徳の授業が好きかどうかについて，全体として，肯定的回答が 85%以上となった。また，年々肯定的回答の割合は右肩上がりに上昇している。

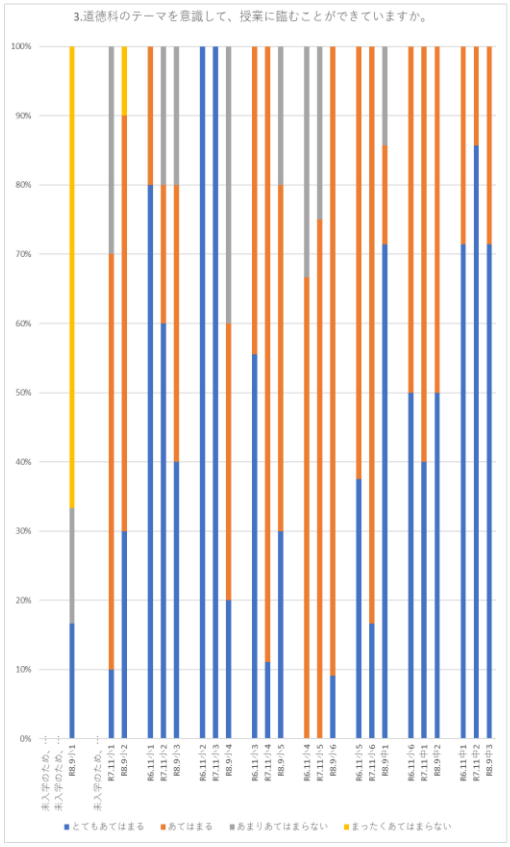
②あなたは道徳科の授業は大切だと思いますか。

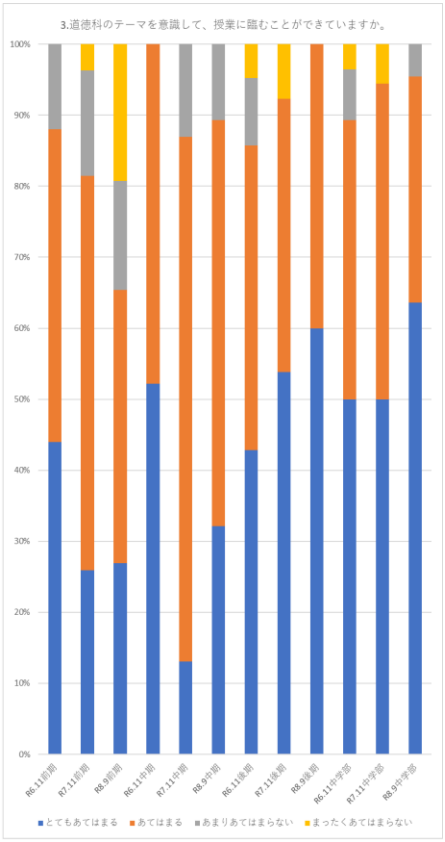




小１，小３以外の肯定的回答の割合は 100%となった。グループ別には，中学部，後期が「とてもあてはまる」の割合を年々上昇させている。全職員を挙げた道徳への取り組みが功を奏していると言える。

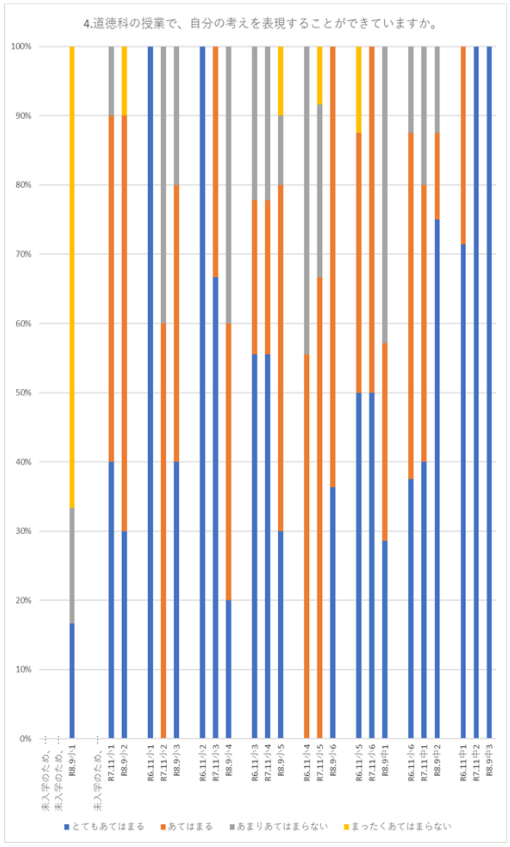
③道徳科のテーマを意識して、授業に臨むことができていますか。

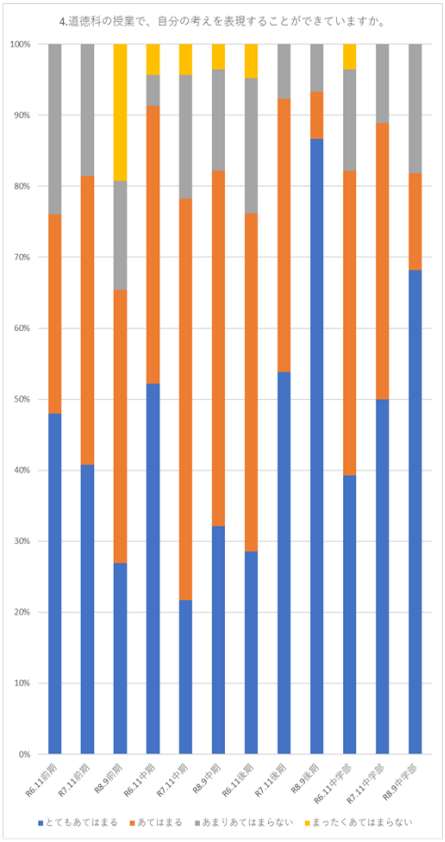




テーマの意識については，肯定的回答の割合は学年が上がる毎に高くなっている。しかし，前期においては一部年々低下してきている。授業の途中にテーマに返す質問，テーマを意識させる問いや揺さぶりが必要だろう。

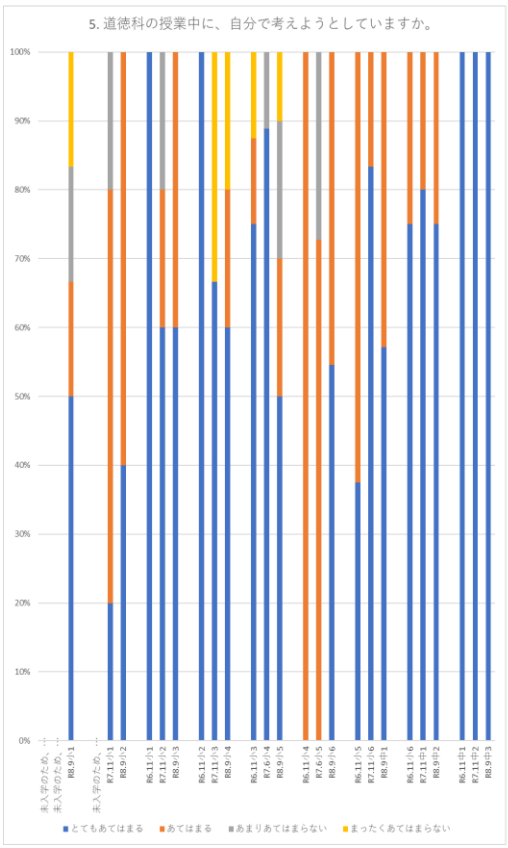
④道徳科の授業で、自分の考えを表現することができていますか。

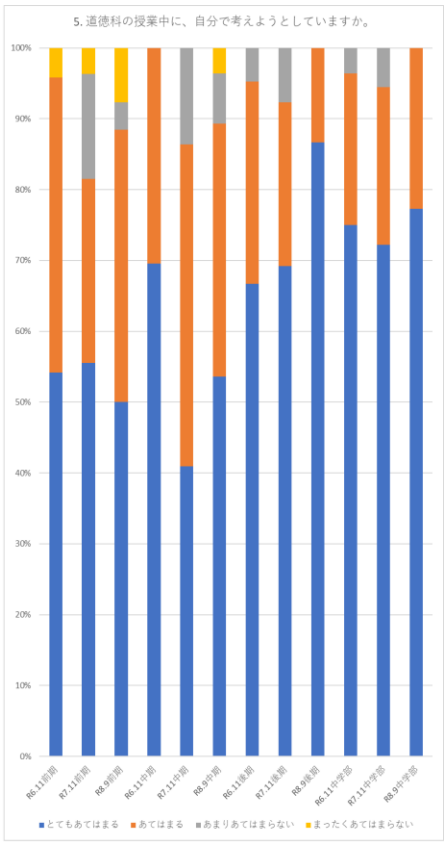




小４，５，中１で自分の考えを表現することに年々難しさを感じている児童･生徒が増加している。発達段階や状況に応じた支援が必要である。ただし，学年別にみると，学年が高くなればなるほど，自分の意見を話しているといえる。安心して発言できる友人との関係性などの環境づくり，仕組みづくりに成功していると言える。

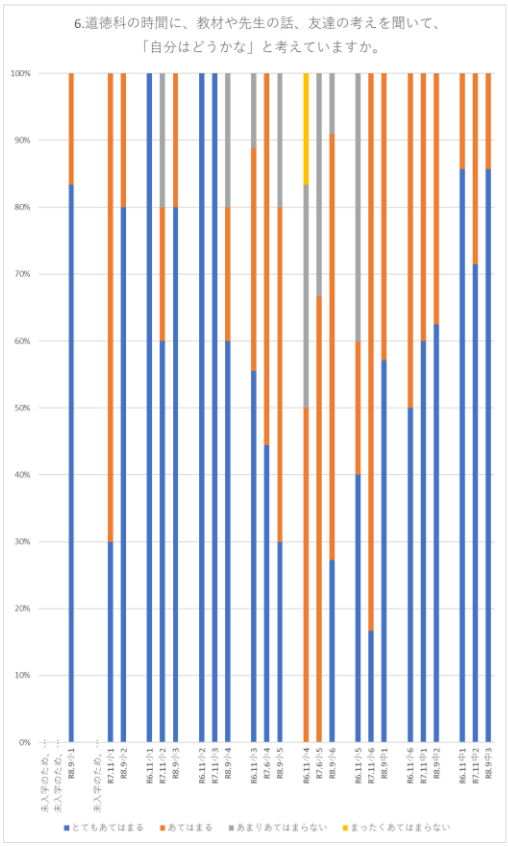
⑤道徳の授業中に、自分で考えようとしていますか。

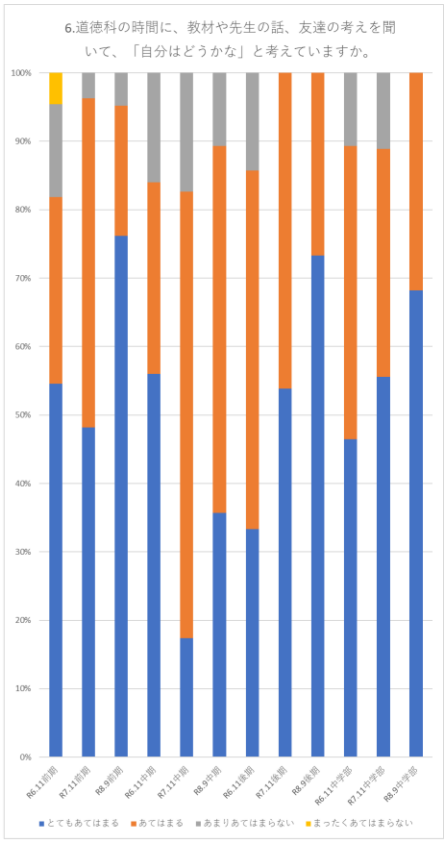




小６～中３については，肯定的回答が 100%であった。小５で肯定的意見の減少がみられる。発達段階や言語能力等を総合的に検討して，授業でできる支援を構築する必要がある。

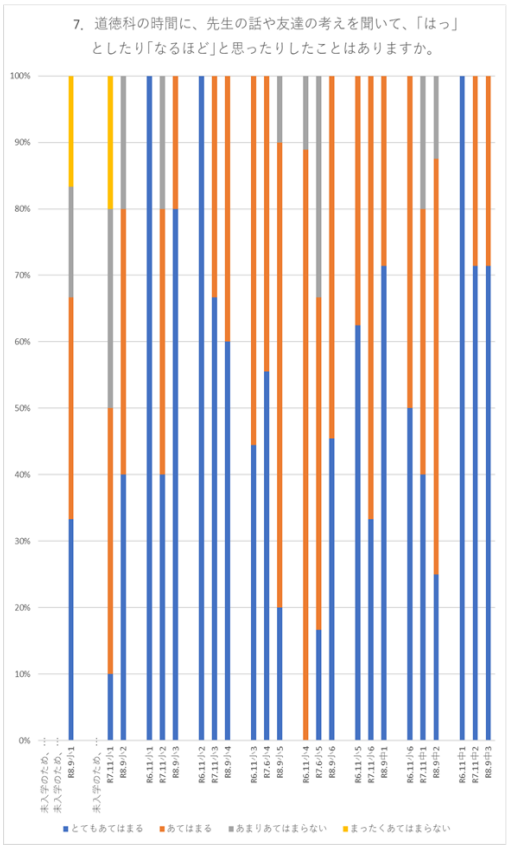
⑥道徳科の時間に、教材や先生の話、友達の考えを聞いて、「自分はどうかな」と考えていますか。

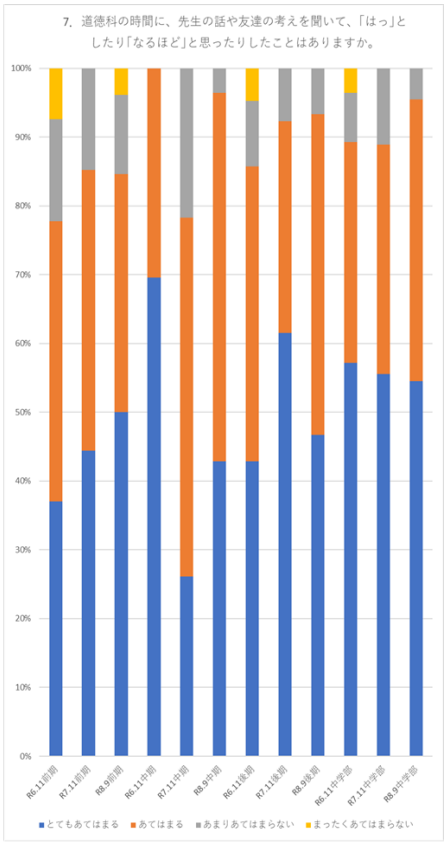




全体として，肯定的回答の割合が右肩上がりで推移している。

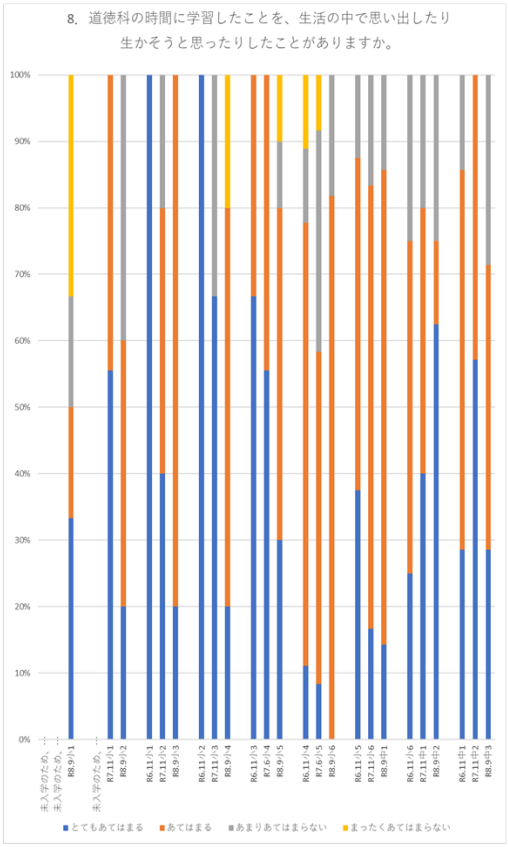
⑦道徳科の時間に、先生や友達の考えを聞いて、「はっ」としたり「なるほど」と思ったりしたことはありますか。

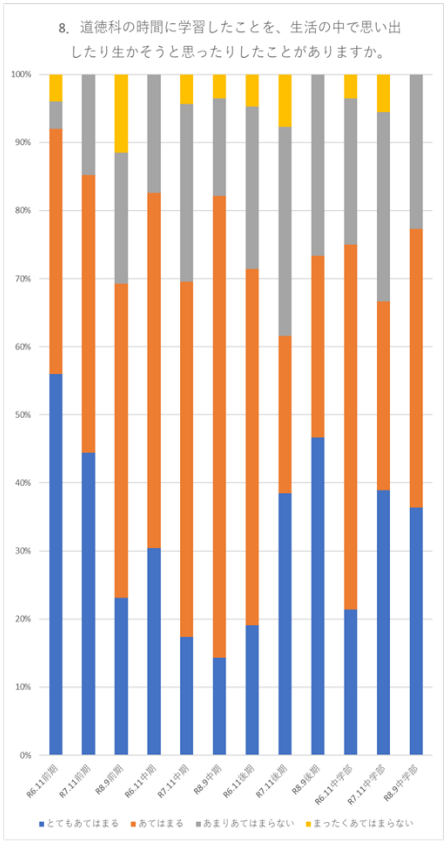




グループ別には，肯定的回答がどのグループでも上昇している。今年度，研究授業後に中心的な発問と問い返しについて協議を重ねた職員のスキルアップの結果であると言える。

⑧道徳科の時間に学習したことを、生活の中で思い出したり生かそうと思ったりしたことがありますか。

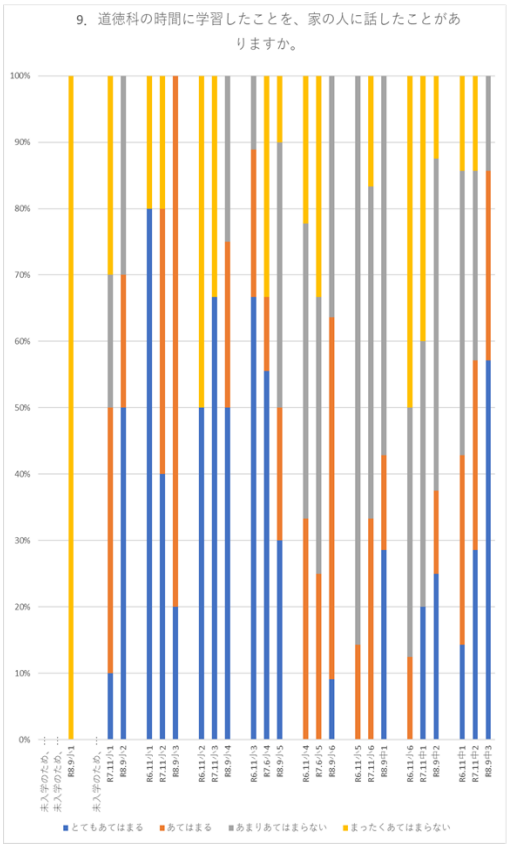


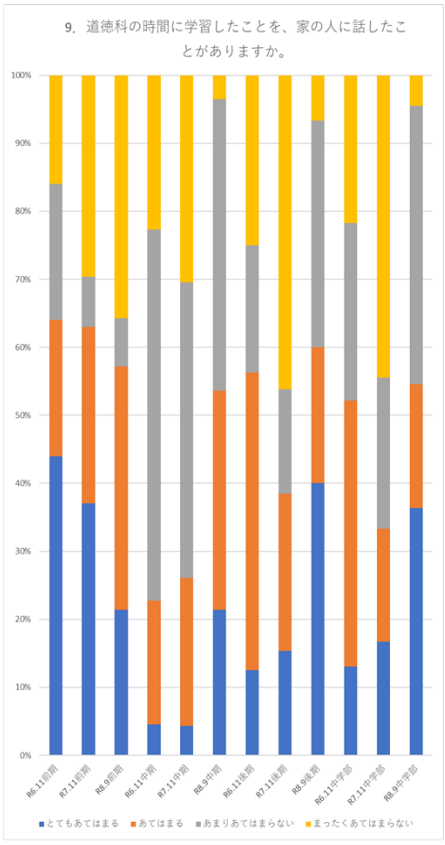


肯定的回答は 70%以上ではあるが，減少している学年，増加している学年のどちらも見える結果となった。「とてもあてはまる」の割合はどの学年も低い割合で推移している。道徳の時間と現実の生活に結びつきを見出すことが難しい様子がうかがえる。

教材から離れ，より現実に近い状況の問いを設定する。さらに，問いに対して，より現実に近い条件などを付けるなどして考えさせる必要がある。

⑨道徳の時間に学習したことを、家の人に話したことがありますか。





家の人に話したことがあるかどうかについて，肯定的回答が 60%程度にとどまったが，道徳通信の認知度の増加，見た回数の増加に伴い，小５以外は肯定的回答が増加している。

ブロック別には全体としては右肩上がりに年々上昇している。道徳通信を通して，道徳の課題を家庭でも考える機会を確保したことの成果であると言える。

2 HUMAN の分析

(1) 昨年度との比較

小学5年生以上の児童生徒について，昨年度10月と今年度9月に HUMAN を実施した。小学6年生以上について，2年分を比較した結果が以下の通りである。なお，以下の表については，すべてにおいて，5ポイント以上の差が見られる場合，よい傾向のものについて**塗りつぶし**で，よくない傾向のものを**白抜き**で示している。まず，価値レベル1および2の肯定的回答率を比較した。学年ごとの差異があるものの，大まかにみて「道徳的総合」「道徳的心情」に改善の傾向がみられる。特に，本校が重点内容項目として取り上げている項目が含まれる「視点 A」と「視点 C」の「心情」において大きく改善していることが確認できた。また，重点内容項目のみで確認すると，「郷土の伝統と文化，郷土を愛する態度」については全学年において改善がみられ，望ましい傾向にあると言える。「視点 A」の「判断」では，減少している学年が多く，課題と言えるだろう。「視点 B」についても減少傾向の学年が多くみられる。これは，昨年度は重点内容項目として取り上げていたが，1年間で大きく改善が見られたため，今年度，重点内容項目から外したことが影響しているかもしれない。

肯定的回答率（1+2）

	小6	中1	中2	中3	中学部	総計
道徳性総合	6	4	-1	1	1.3	2.5
道徳的心情	10	4	1	-1	1.3	3.5
道徳的判断	4	4	-8	0	-1.3	0
視点A	-3	5	-5	-4	-1.3	-1.8
視点A心情	2	5	6	1	4	3.5
視点A判断	-8	4	-15	-9	-6.7	-7
視点B	-3	-2	-10	8	-1.3	-1.8
視点B心情	-22	6	-2	6	3.3	-3
視点B判断	-5	-11	-18	9	-6.7	-6.3
視点C	17	12	-5	-3	1.3	5.3
視点C心情	19	5	-3	-3	-0.3	4.5
視点C判断	16	13	-8	-1	1.3	5
視点D	16	-6	9	4	2.3	5.8
視点D心情	18	-5	8	0	1	5.3
視点D判断	13	-5	11	10	5.3	7.3
（小）正直・誠実、（中）真理の探究	7	-3	-25	16	-4	-1.3
規則の尊重、遵法精神・公徳心	11	13	-42	-19	-16	-9.3
郷土の伝統と文化の尊重	13	13	1	7	7	8.5
生命の尊さ	-2	-23	52	-2	9	6.3

1の回答率

	小6	中1	中2	中3	中学部	総計
道徳性総合	2	3	6	3	4	3.5
道徳的心情	5	5	6	2	4.3	4.5
道徳的判断	-1	2	6	2	3.3	2.3
視点A	4	0	-2	10	2.7	3
視点A心情	8	-10	-4	18	1.3	3
視点A判断	0	9	1	2	4	3
視点B	1	2	4	-1	1.7	1.5
視点B心情	6	10	7	-11	2	3
視点B判断	-5	-6	3	8	1.7	0
視点C	17	12	-5	-3	1.3	5.3
視点C心情	4	16	9	-2	7.7	6.8
視点C判断	-4	-2	7	-4	0.3	-0.8
視点D	5	0	10	8	6	5.8
視点D心情	0	-3	8	7	4	3
視点D判断	10	4	12	10	8.7	9
（小）正直・誠実、（中）真理の探究	5	11	4	19	11.3	9.8
規則の尊重、遵法精神・公徳心	-23	12	-21	-18	-9	-12.5
郷土の伝統と文化の尊重	10	37	1	3	13.7	12.8
生命の尊さ	5	-14	33	8	9	8

4の回答率

	小6	中1	中2	中3	中学部	総計
道徳性総合	-1	-2	0	-1	-1.0	-1
道徳的心情	-1	-1	3	-3	-0.3	-0.5
道徳的判断	-1	-4	1	0	-1.0	-1
視点A	0	-3	4	7	2.7	2
視点A心情	-4	-2	2	3	1.0	-0.3
視点A判断	3	-4	6	10	4.0	3.8
視点B	-1	1	3	-2	0.7	0.3
視点B心情	-12	3	7	-4	2.0	-1.5
視点B判断	0	-2	0	0	-0.7	-0.5
視点C	-3	-4	1	-3	-2.0	-2.3
視点C心情	0	-4	0	-2	-2.0	-1.5
視点C判断	-6	-5	2	-5	-2.7	-3.5
視点D	1	-1	2	-6	-1.7	-1
視点D心情	2	-1	7	-11	-1.7	-0.8
視点D判断	0	-1	-4	0	-1.7	-1.3
（小）正直・誠実、（中）真理の探究	-10	-6	0	-8	-4.7	-6
規則の尊重、遵法精神・公徳心	-5	-11	21	6	5.3	2.8
郷土の伝統と文化の尊重	0	0	-8	-7	-5.0	-3.8
生命の尊さ	0	-7	0	-1	-2.7	-2

次に，価値レベルが最も高い1の回答率を比較した。前出の肯定的回答率と同じような傾向が見られたことに加え，「視点 D」がすべてにおいて改善傾向であることがわかる。また，肯定的回答率では見られなかった，「正直・誠実（小学部）」「真理の探究・創造（中学部）」に，どの学年も伸びがみられることがわかった。「視点 A」の「判断」は，肯定的回答率では課題が見られたが，1の回答率ではむしろ若干の改善傾向がみられる。一方，同じ「視点 A」の「心情」では，学年によっては減少傾向がみられる学年もある。「心情」については，1から2への移行よりも2から3への移行が多かったためと考えられる。同様に，「判断」については，2から3への移行も見られたが，2から1への移行も多くみられたものと考えられる。「規則の尊重」「遵法精神・公徳心」については，減少傾向の学年が多く，課題といえるだろう。

最後に，価値レベルが最も低い4について比較した。これまでの比較と比べると，変化が少ないことがわかる。そのような中で，これまでの比較では変化がなかった「視点 C」の「判断」に改善傾向が見られた。学年に差異はあるものの，全体として少しずつ価値レベルの上昇傾向がみられることがわかる。

以上のことから，以下の傾向が認められる。

① 大まかな「心情」面の伸び。特に「視点 C」が顕著。

② 「郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度」の伸び。

③ 「視点 A」の「判断」に課題。

⑵ 全国比

肯定的回答率（1+2）

	小5	全国	全国比	小6	全国	全国比	小学部計	中1	全国	全国比	中2	全国	全国比	中3	全国	全国比	中学部計	総計
道徳性総合	81	85	-4	86	82	4	83.5	85	83	2	80	79	1	75	77	-2	80.0	81.4
道徳的心情	79	84	-5	89	82	7	84	85	80	5	78	76	2	74	75	-1	79.0	81
道徳的判断	83	86	-3	84	83	1	83.5	84	84	0	83	81	2	75	80	-5	80.7	81.8
視点A	85	86	-1	84	84	0	84.5	88	82	6	70	78	-8	67	76	-9	75.0	78.8
視点A心情	86	85	1	86	82	4	86	90	80	10	69	75	-6	67	75	-8	75.3	79.6
視点A判断	83	88	-5	84	85	-1	83.5	86	84	2	71	80	-9	69	78	-9	75.3	78.6
視点B	78	86	-8	88	85	3	83	82	82	0	80	80	0	85	79	6	82.3	82.6
視点B心情	72	86	-14	86	84	2	79	86	80	6	78	76	2	81	75	6	81.7	80.6
視点B判断	78	88	-10	89	87	2	83.5	78	85	-7	82	84	-2	88	84	4	82.7	83
視点C	85	85	0	87	82	5	86	88	84	4	88	81	7	79	80	-1	85.0	85.4
視点C心情	86	85	1	97	83	14	91.5	87	83	4	84	78	6	81	77	4	84.0	87
視点C判断	84	85	-1	78	81	-3	81	88	86	2	90	83	7	78	82	-4	85.3	83.6
視点D	76	81	-5	87	78	9	81.5	76	78	-2	78	73	5	65	70	-5	73.0	76.4
視点D心情	67	79	-12	84	77	7	75.5	78	75	3	75	72	3	64	68	-4	72.3	73.6
視点D判断	86	83	3	89	80	9	87.5	75	81	-6	82	75	7	67	73	-6	74.7	79.8
正直・誠実、真理の探究	95	86	9	77	93	-16	86	75	81	-6	50	75	-25	66	73	-7	63.7	72.6
規則の尊重、遵法精神・公徳心	89	89	0	91	87	4	90	90	78	12	50	68	-18	39	66	-27	59.7	71.8
郷土の伝統と文化の尊重	83	68	15	78	64	14	80.5	90	73	17	93	71	22	100	66	34	94.3	88.8
生命の尊さ	78	77	1	73	77	-4	75.5	55	74	-19	86	73	13	55	69	-14	65.3	139.6

まず，価値レベル1および2の肯定的回答率を，全国と比較した。学年ごとの差異があるものの，大まかにみて「視点 A」及び「視点 B」の「判断」については全国よりも低い値の学年が多い。一方，「視点 C」については，

「総合」と「心情」において，全国を上回る値を示す学年が多い。重点内容項目では，中学部の「真理の探究・創造」において，どの学年も全国より低い値を示した。それに対して，「郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度」では，どの学年も全国よりも大幅に高い値を示した。

次に，価値レベルが最も高い1の回答率を比較した。ここでは，「道徳的判断」について，全国との差がみられる

1の回答率

	小5	全国	全国比	小6	全国	全国比	小学部計	中1	全国	全国比	中2	全国	全国比	中3	全国	全国比	中学部計	総計
道徳性総合	54	52	2	46	48	-2	50	45	49	-4	45	45	0	35	43	-8	41.7	45
道徳的心情	55	51	4	48	47	1	51.5	45	46	-1	44	42	2	34	40	-6	41.0	45.2
道徳的判断	53	54	-1	44	50	-6	48.5	45	51	-6	47	47	0	35	46	-11	42.3	44.8
視点A	66	54	12	48	51	-3	57	45	46	-1	30	42	-12	34	39	-5	36.3	44.6
視点A心情	69	51	18	45	46	-1	57	42	45	-3	26	41	-15	38	39	-1	35.3	44
視点A判断	63	58	5	52	54	-2	57.5	48	46	2	34	43	-9	31	40	-9	37.7	45.6
視点B	39	49	-10	44	47	-3	41.5	43	52	-9	46	48	-2	35	47	-12	41.3	41.4
視点B心情	36	48	-12	42	44	-2	39	43	46	-3	32	41	-9	25	39	-14	33.3	35.6
視点B判断	42	51	-9	45	50	-5	43.5	43	58	-15	61	54	7	44	55	-11	49.3	47
視点C	56	53	3	45	49	-4	50.5	50	49	1	52	46	6	36	44	-8	46.0	47.8
視点C心情	59	53	6	55	50	5	57	54	49	5	27	46	-19	41	45	-4	40.7	47.2
視点C判断	52	53	-1	35	48	-13	43.5	46	50	-4	46	46	0	31	44	-13	41.0	42
視点D	50	51	-1	48	46	2	49	36	47	-11	48	42	6	33	40	-7	39.0	43
視点D心情	50	50	0	48	45	3	49	33	39	-6	46	36	10	25	34	-9	34.7	40.4
視点D判断	50	52	-2	48	47	1	49	40	55	-15	50	49	1	42	47	-5	44.0	46
正直・誠実、真理の探究	67	52	15	45	48	-3	56	50	50	0	21	45	-24	33	40	-7	34.7	43.2
規則の尊重、遵法精神・公徳心	56	56	0	27	50	-23	41.5	45	39	6	29	34	-5	11	31	-20	28.3	33.6
郷土の伝統と文化の尊重	50	40	10	55	37	18	52.5	40	38	2	43	35	8	17	30	-13	33.3	41
生命の尊さ	61	43	18	50	41	9	55.5	25	43	-18	50	43	7	22	40	-18	32.3	81.9

学年が多いことがわかった。特に「視点 C」「視点 D」についてはその傾向が特にみられた。また，「視点 B」についても，1学年以外は全国よりも低い傾向にあった。「視点 B」においては，「総合」「心情」においても全国より低い値を示す学年が多くみられた。

最後に，価値レベルが最も低い4について比較した。ここでは全国との差が比較的少ない，もしくは望ましい傾

4の回答率

	小5	全国	全国比	小6	全国	全国比	小学部計	中1	全国	全国比	中2	全国	全国比	中3	全国	全国比	中学部計	総計
道徳性総合	9	4	5	1	5	-4	5	2	4	-2	5	6	-1	4	6	-2	3.7	4.2
道徳的心情	9	4	5	1	5	-4	5	3	5	-2	8	7	1	3	7	-4	4.7	4.8
道徳的判断	10	4	6	1	5	-4	5.5	1	4	-3	3	5	-2	5	5	0	3.0	4
視点A	7	5	2	3	5	-2	5	2	5	-3	9	7	2	11	8	3	7.3	6.4
視点A心情	7	5	2	3	6	-3	5	2	6	-4	9	8	1	9	8	1	6.7	6
視点A判断	7	4	3	3	5	-2	5	2	5	-3	9	6	3	13	7	6	8.0	6.8
視点B	12	4	8	0	4	-4	6	3	4	-1	5	5	0	0	5	-5	2.7	4
視点B心情	9	3	6	0	3	-3	4.5	5	6	-1	11	7	4	0	7	-7	5.3	5
視点B判断	16	4	12	0	4	-4	8	0	2	-2	0	3	-3	0	3	-3	0.0	3.2
視点C	9	4	5	0	5	-5	4.5	1	4	-3	4	5	-1	1	5	-4	2.0	3
視点C心情	8	4	4	0	4	-4	4	1	4	-3	6	7	-1	1	7	-6	2.7	3.2
視点C判断	10	5	5	0	5	-5	5	0	3	-3	2	4	-2	0	4	-4	0.7	2.4
視点D	10	4	6	0	5	-5	5	5	5	0	4	7	-3	7	8	-1	5.3	5.2
視点D心情	14	5	9	0	6	-6	7	5	6	-1	7	7	0	3	8	-5	5.0	5.8
視点D判断	6	4	2	0	4	-4	3	5	4	1	0	7	-7	11	7	4	5.3	4.4
正直・誠実、真理の探究	6	6	0	0	7	-7	3	0	4	-4	0	6	-6	6	7	-1	2.0	2.4
規則の尊重、遵法精神・公徳心	6	5	1	0	6	-6	3	0	6	-6	29	10	19	6	9	-3	11.7	8.2
郷土の伝統と文化の尊重	6	8	-2	0	9	-9	3	5	5	0	0	7	-7	0	9	-9	1.7	2.2
生命の尊さ	11	5	6	0	6	-6	5.5	10	5	5	0	5	-5	6	5	1	5.3	7.9

向がみられる学年が多いことがわかる。特に，小学部の「正直・誠実」，中学部の「真理の探究・創造」，「郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度」は，全国よりも望ましい傾向が見られた。

以上のことから，以下のことが認められる。

① 「道徳的判断」に課題。

② 「郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度」は本校の強み。

「(1) 昨年度との比較」と「(2)全国との比較」から，

・昨年度の課題であった道徳的心情に伸びがみられるが，道徳的判断については課題が残った。

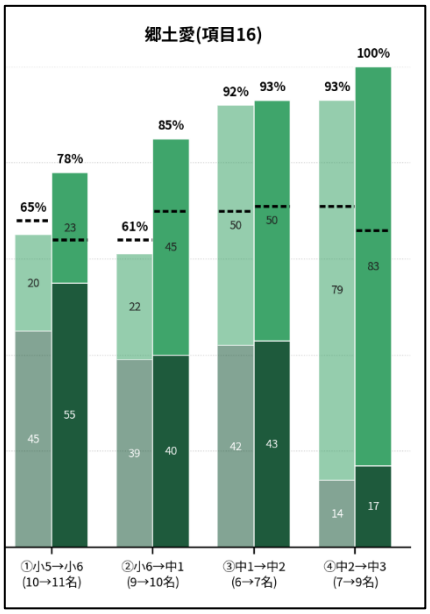
・小学部の「正直・誠実」，中学部の「真理の探究・公徳心」は，いまだ全国よりも低い値を示しているが，今年度重点内容項目にして取り組んでいることから，伸びがみられる。

・「郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度」は肯定的回答が小学部では75%以上，中学部に至って

は全学年が 90%以上（中3は 100%）と，本校の強みであると言える。
・全国の割合と比べると課題もまだまだみられるが，価値レベル1の回答率が増加している割合が多く，レベル4の回答率が減少している割合が多い。

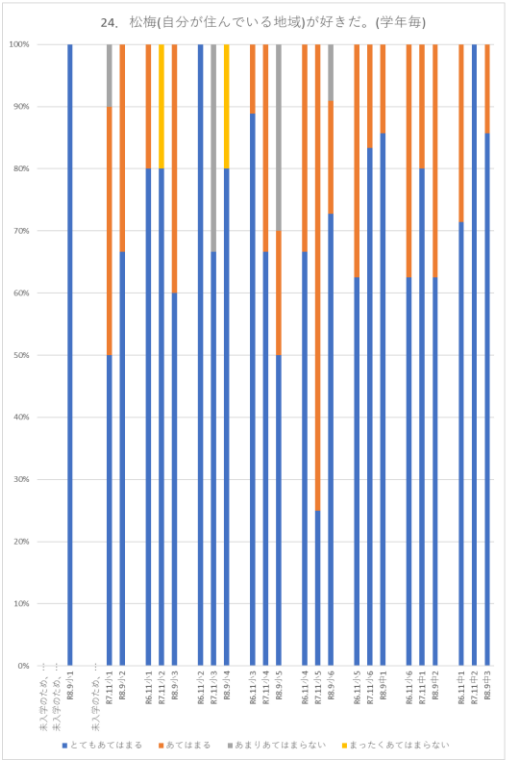
3 重点内容項目における、HUMAN とアンケートの分析

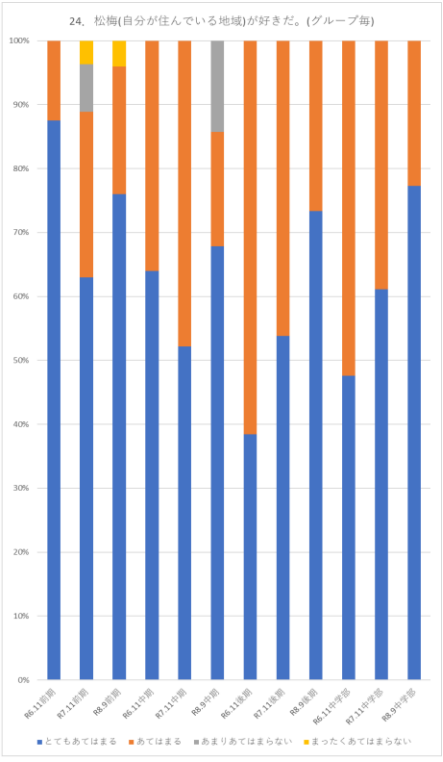
(1)「郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度」における HUMAN とアンケートの分析



HUMAN の伝統文化,郷土愛においては,肯定率は,②小 6→中 1 で 61%から 85%へ 24.0pt,①小 5→小 6 で 65%から 78%へ 13.0pt,④中 2→中 3 で 93%から 100%へ 7.0pt 伸び,③中 1→中 2 は 92%から 93%でほぼ横ばいであった。②では段階Ⅲが 28%から 10%に,段階Ⅳが 11%から 5%に減り,令和８年度の中３は段階Ⅲ・Ⅳの回答がなかった。全国の肯定率は①で 68%から 64%に低下し,④でも 71%から 66%に低下しており,本校の値は4つの学年のすべてで上昇または維持であった。

⑩松梅が好きだ。

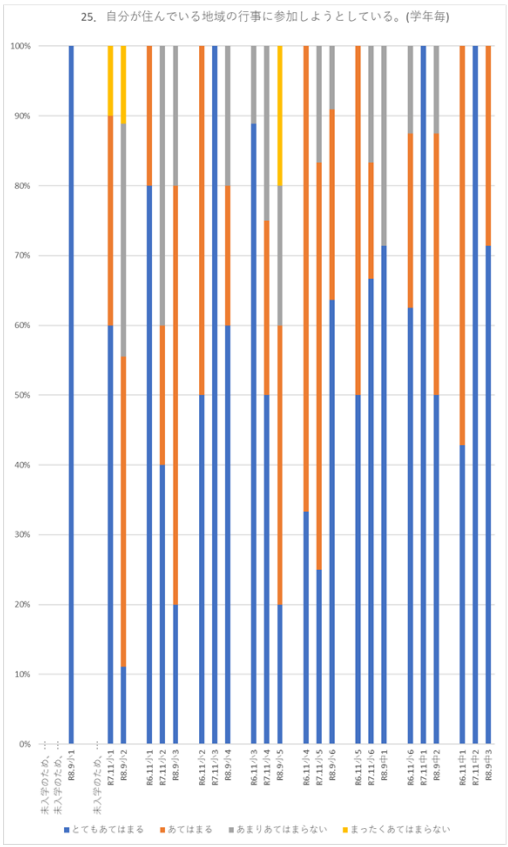


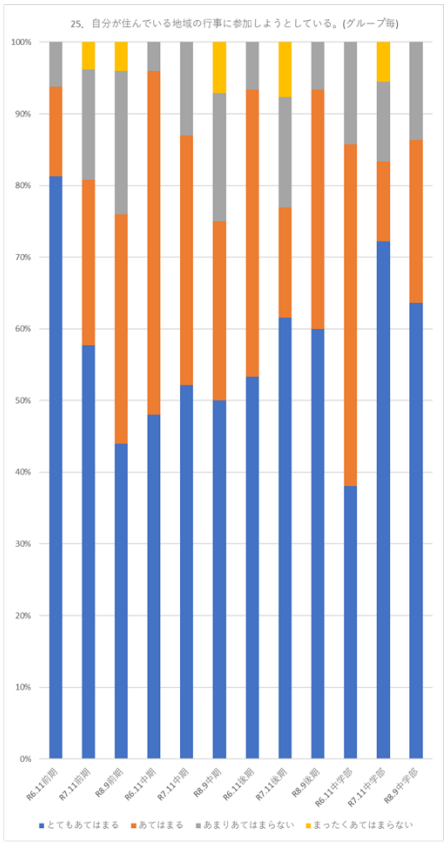


小６において「とてもあてはまる」と答えた生徒が 25%から 70%程に大きく上昇している。

グループ別には，昨年度肯定的回答が減少していた前期も回復傾向にある。また，後期，中学部においては肯定的回答が 100%であると同時に，「とてもあてはまる」の割合が年々増加している。しかし，小５で「とてもあてはまる」と回答した児童の割合の低下がみられる。今後も松梅のよさは何かを考えさせたり，良さの深みを追うような指導をしたりしてきたい。

⑪自分が住んでいる地域の行事に参加しようとしている。

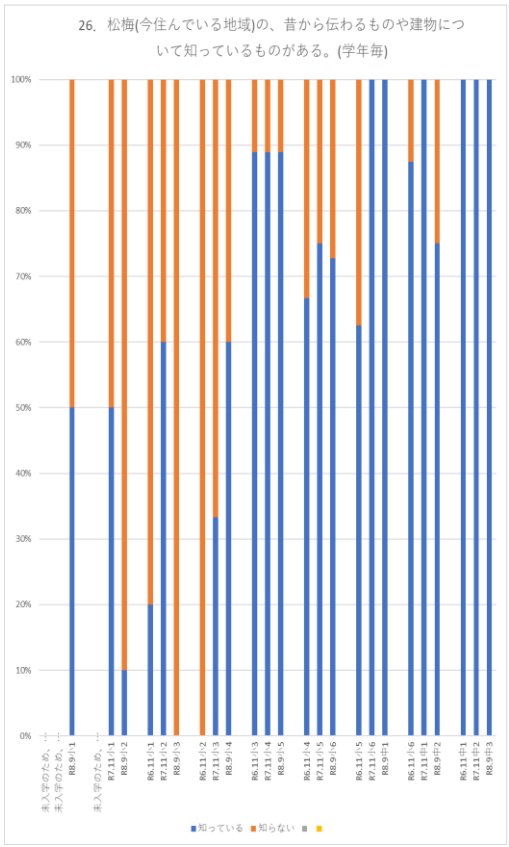


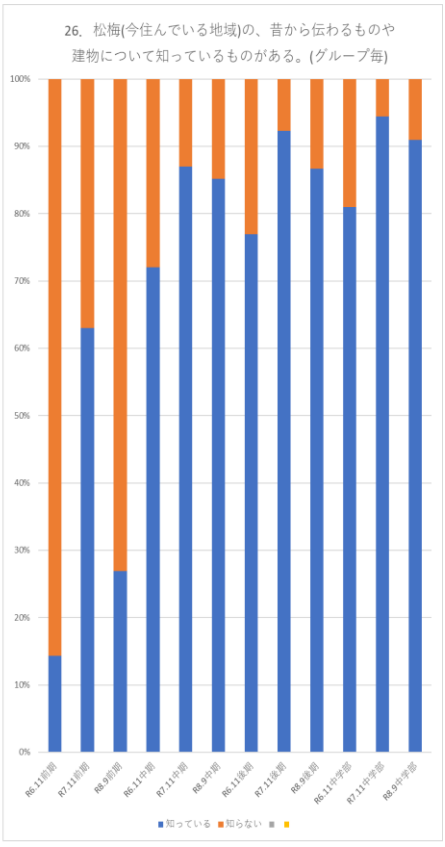


中３以外の学年では，どの学年も肯定的回答が 100％とはならなかった。小２，４，５，中１，中２では肯定的回答が減少している。「とてもあてはまる」と答えた生徒の割合は小６，中１以外ではどの学年も低下している。

グループ別では，どのグループでも肯定的回答は 100％ではなかった。前期中期では昨年度から今年度も 5～10％程減少している。「とてもあてはまる」と答えた生徒の割合はどのグループも低下している。考えられる原因として，中学部では他地区から登校してきている生徒数の増加，地域行事の時間が開催されている間に，中学部１，２年生は部活動に参加していることが挙げられる。

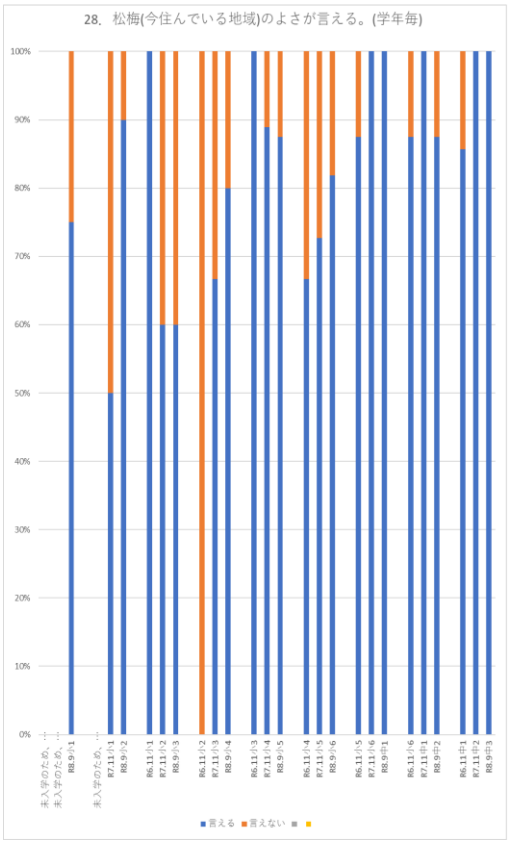
⑫松梅の昔から伝わるものや建物について知っているものがある。

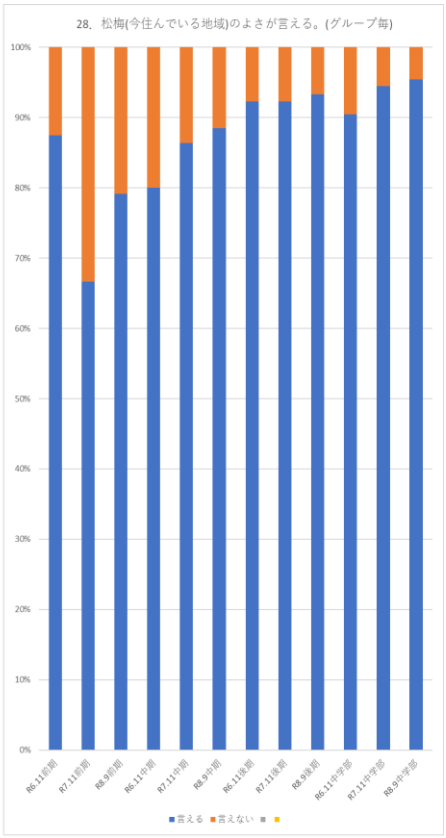




学年が上がるにつれて，肯定的回答の割合が高くなる。総合的な学習の時間などでの地域学習の賜物であるといえる。

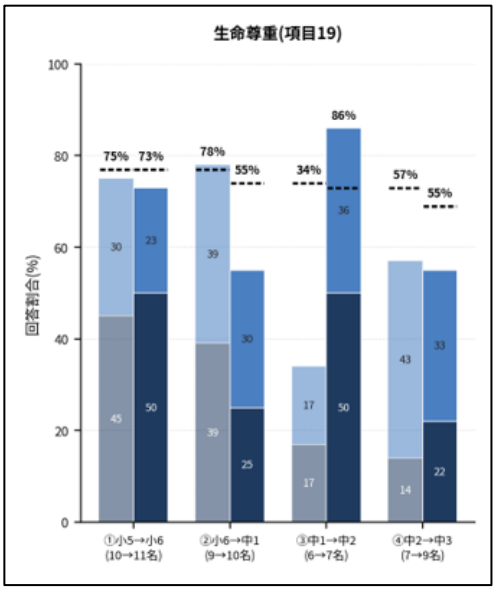
⑬松梅のよさが言える。





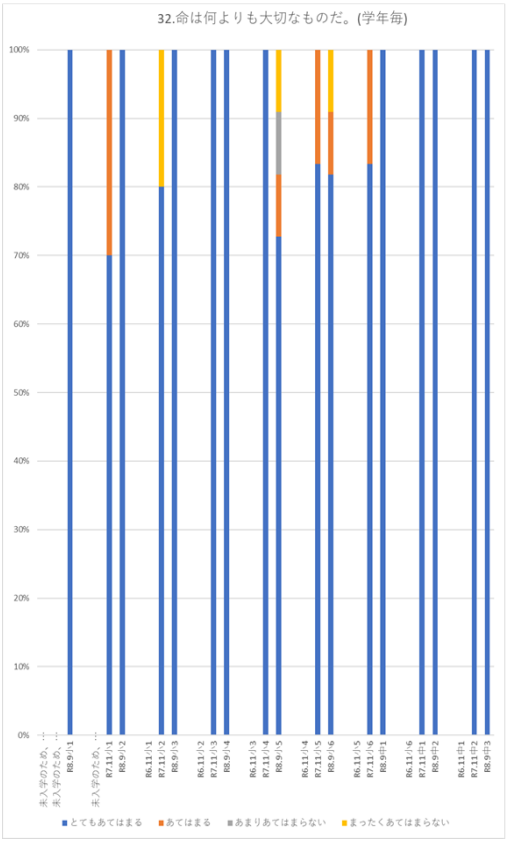
グループ別にはどのグループも増加傾向にあると言える。総合的な学習の時間等を通して，松梅について学んだことによって，そのよさに気づくことができたものと思われる。

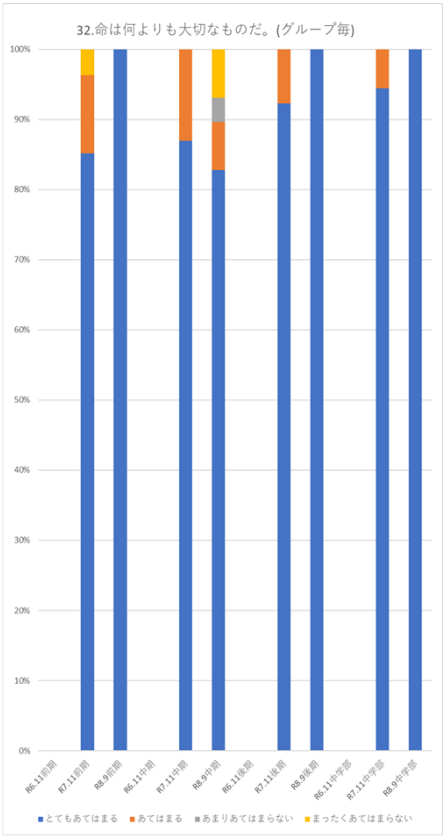
⑵「生命の尊さ」



HUMAN の生命尊重において,肯定率は③中 1→中 2 で 34%から 86%へ 52.0pt 伸び,4つの学年の中で最も大きな伸びを示した。このとき段階Ⅰは 17%から 50%へ,段階Ⅲは 67%から 14%へ変化した。②小 6→中 1 では 78%から 55%へ 23.0pt 落ち込み,段階Ⅲが 6%から 35%に増えた。①小 5→小 6 と④中 2→中 3 の肯定率はほぼ横ばいで,①は段階Ⅰが 45%から 50%に増え段階Ⅳが 10%から 0%になり,④は段階Ⅰが 14%から 22%に増えた。全国の肯定率は小 6 の 77%から中 3 の 69%へ緩やかに低下しており,本校の中 2(86%)は全国(73%)を上回った。

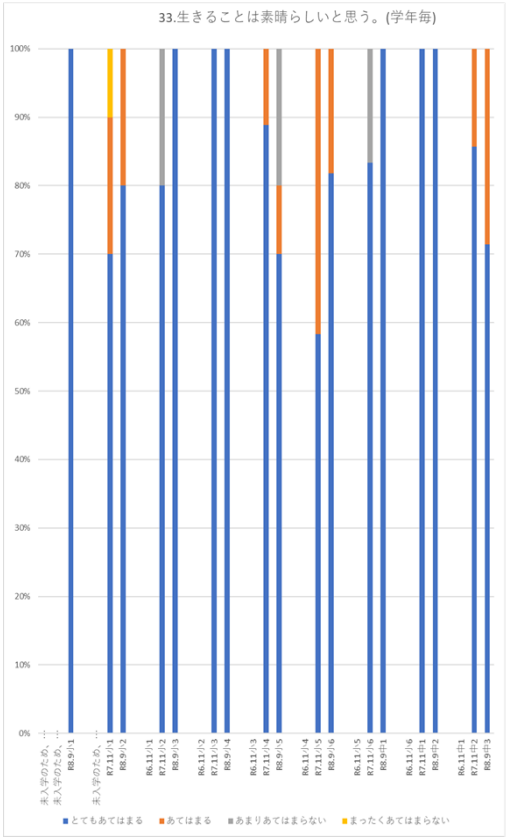
⑭命は何よりも大切なものだ。

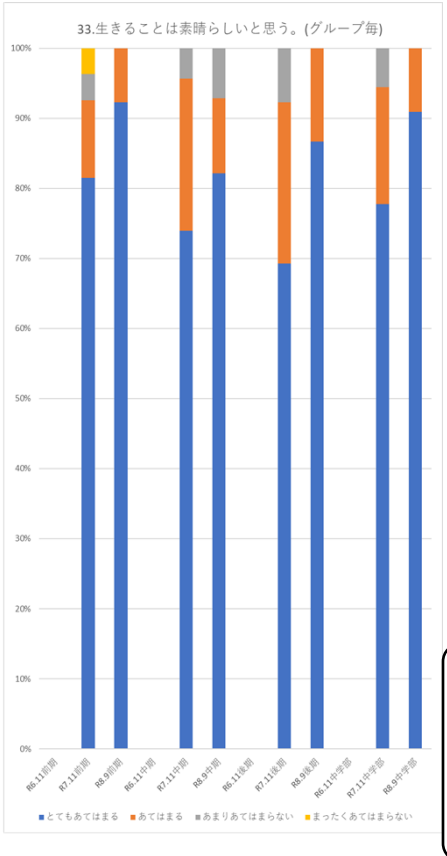




「命は何よりも大切なものだ」について，どの学年も肯定的回答が 80%を超えていた。普段の取り組みの成果が表れていると言える。

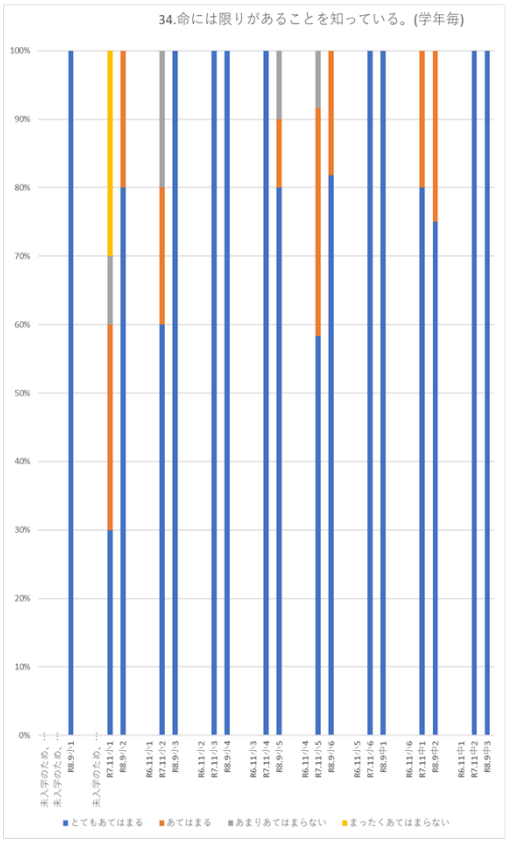
⑮生きることは素晴らしいと思う。

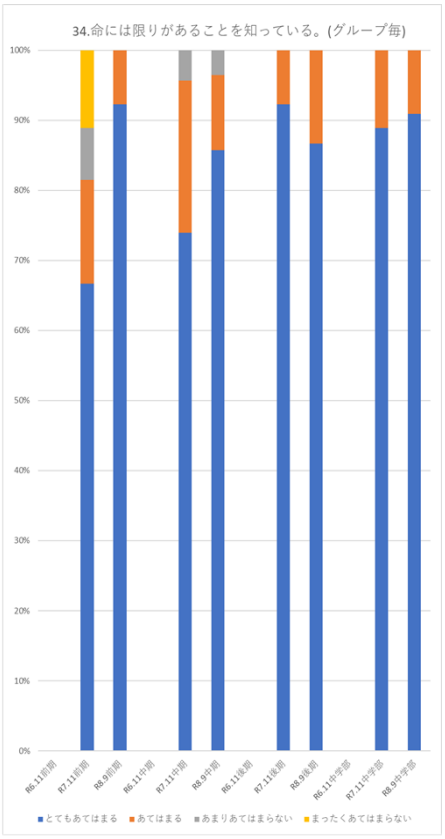




「生きることはすばらしいと思う」について，肯定的回答がどの学年も 80%以上であった。

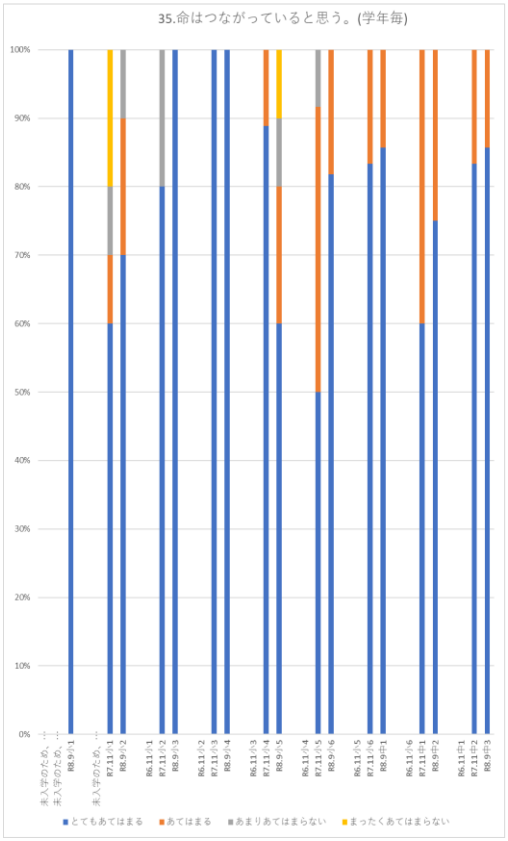
⑯命には限りがあることを知っている。

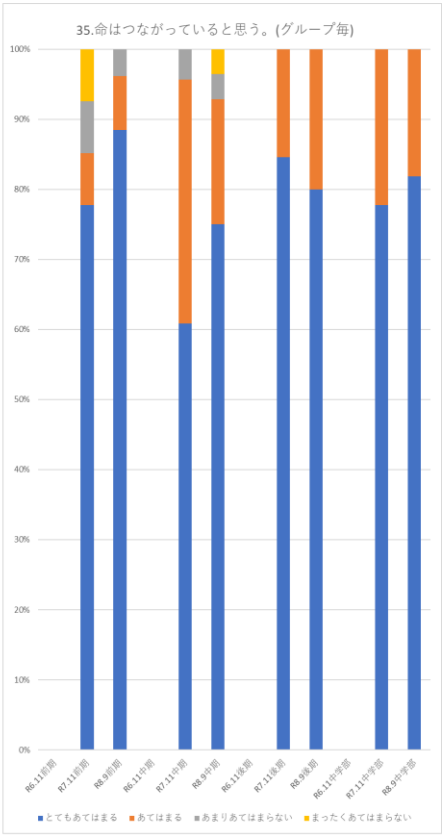




「命には限りがあることを知っている」について，どの学年も肯定的回答が 90%以上だった。

⑰命はつながっていると思う。

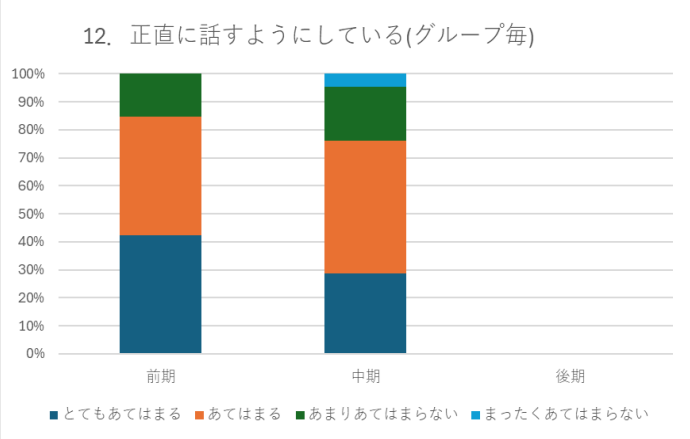


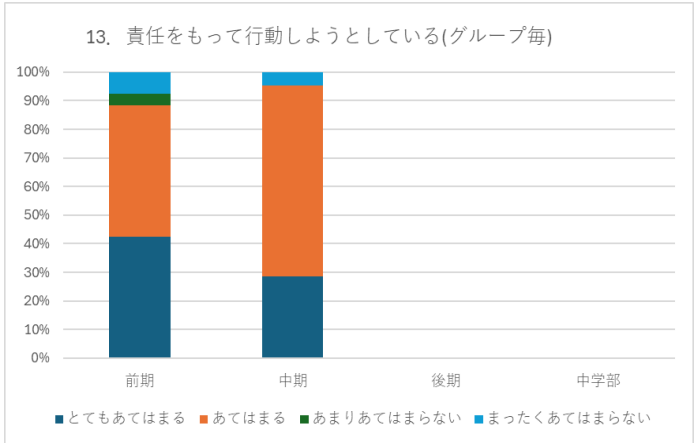


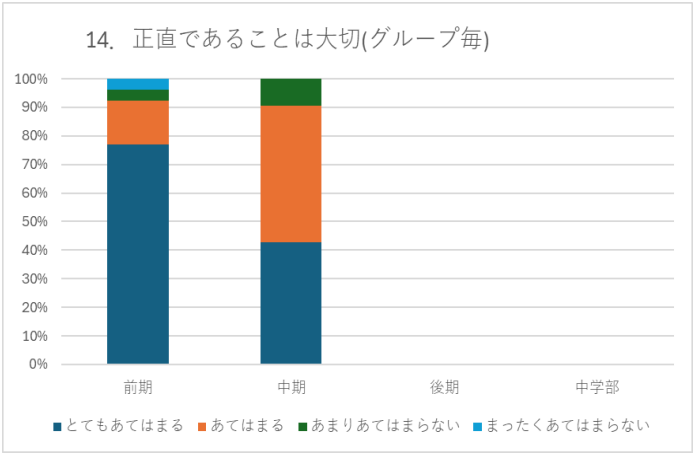
「命はつながっている」の質問について，小２では肯定的回答が 20%上昇した。またすべての学年で 80%であった。
グループ別には後期以外で「最もあてはまる」と回答した生徒の割合が上昇している。なお，後期はパーセンテージ表記上では減少しているが，人数ベースでは増加していた。

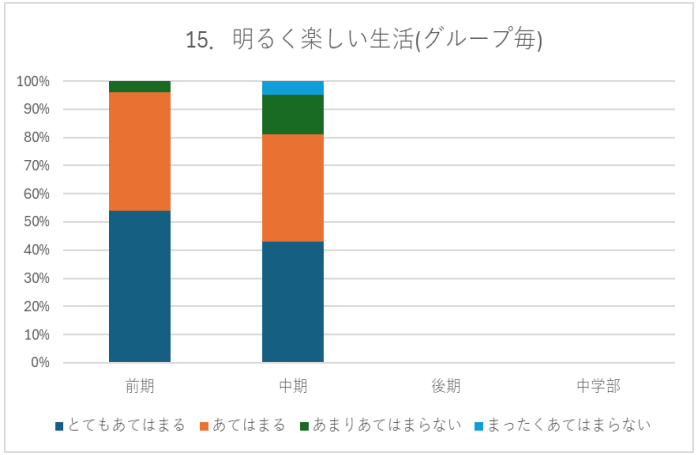
⑶「正直・誠実」アンケート分析

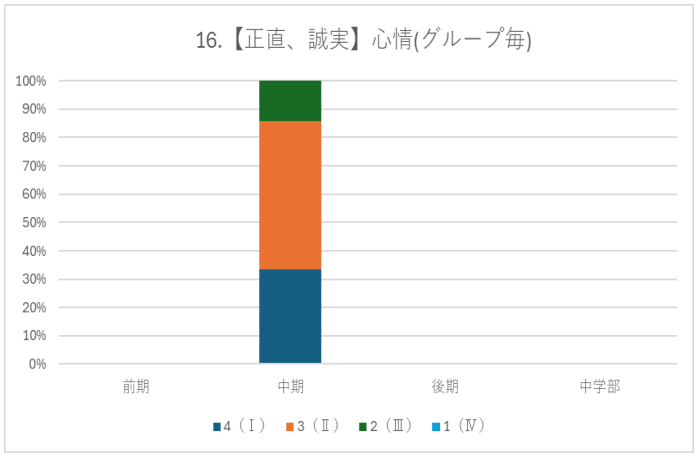
「正直・誠実」（小のみ）では，「正直に話すようにしている」「正直であることは大切である」「明るく楽しい生活を心がけている」は学年が上がるにつれて肯定的回答が減少していた。一方，「責任をもって行動しようとしている」では，学年が上がるにつれて，小２を除いて，肯定的回答が９割～10 割となっていた。心情・判断ともに肯定的回答は 90%弱であり，学年が上がるにつれて，肯定的回答の割合は右肩上がりに上昇していた。

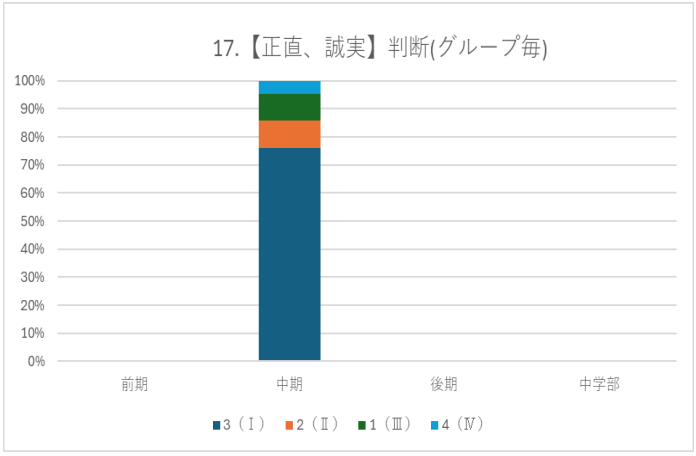






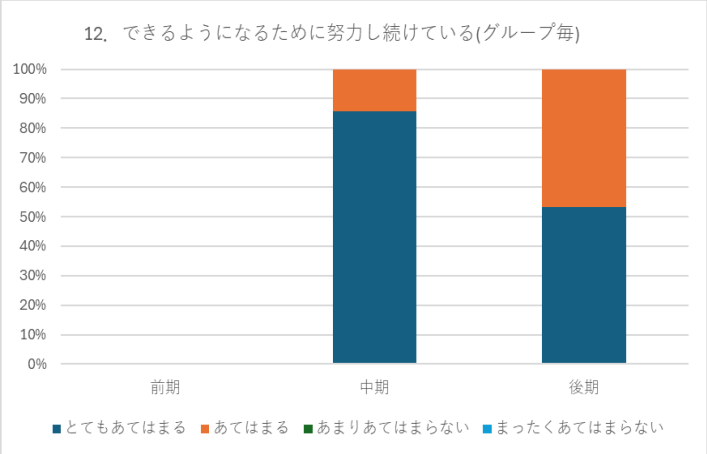


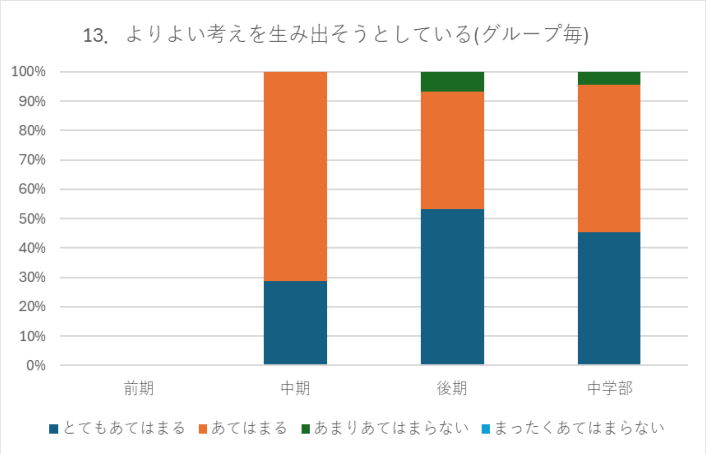


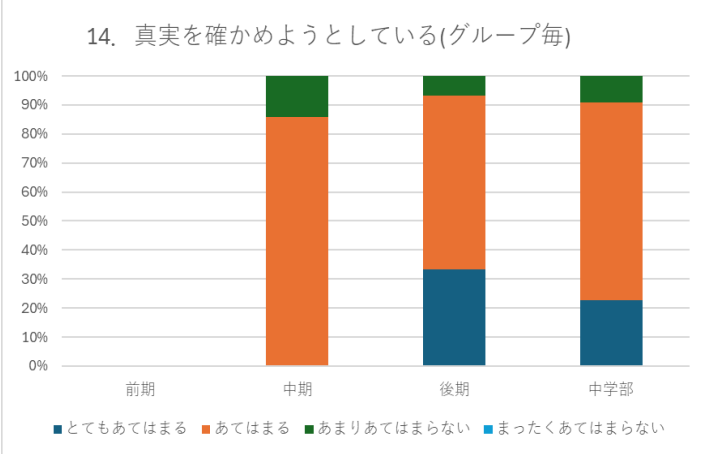


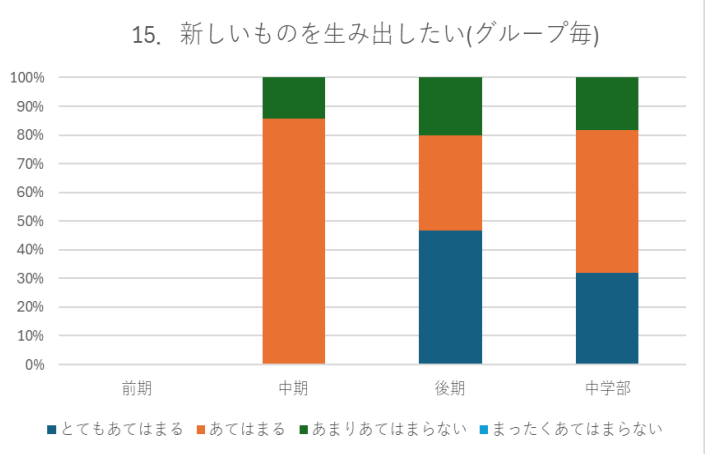
⑷「真理の探究･創造」

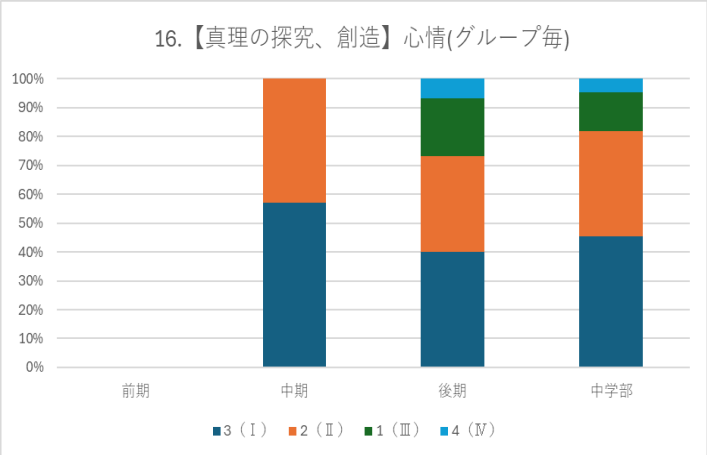
「真理の探究，創造」は「できるようになるために努力し続けている」「より良い考えを生み出そうとしている」「真実を確かめようとしている」など，自分の中で完結することができることには対しては高い肯定的回答がみられるが，「新しいものを生み出したい」と，自分から離れ，新たに生み出すことを求められる質問項目については，上記３つの質問と比べ肯定的回答が減少している。心情と判断については中期では心情優位，後期では判断優位，中学部では心情優位となった。

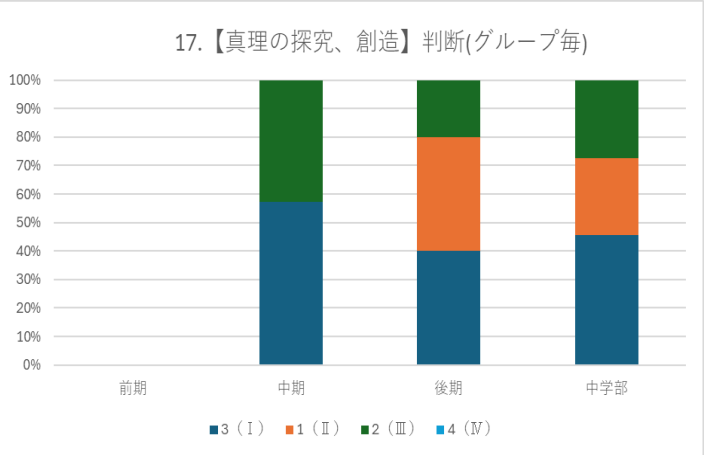












⑸「規則の尊重」「遵法精神，公徳心」

「規則の尊重」「遵法精神，公徳心」は，全体として，肯定的回答がとても減少している。心情と判断を比べると，若干ではあるが，中期では心情優位，後期では判断優位，中学部では心情判断ともに同等となった。

